

令和4年度第3回吹田市スポーツ推進計画（スポーツ施設整備方針）策定会議 会議概要

- 1 日 時 令和5年3月27日（月） 18時から19時30分
- 2 場 所 吹田市役所高層棟4階 特別会議室
- 3 出席委員 富山委員長、祐末副委員長、松井委員、孫田委員、山本委員、
望月委員、前田委員、村林委員、中野委員、林委員
- 4 欠席委員 下岡委員、水谷委員
- 5 事務局 井田都市魅力部長、長井文化スポーツ推進室長、金参事、西田参事、
大村主幹、浅田主査、守屋主査
- 6 議 題 (1) スポーツ推進計画 骨子案について
(2) その他

7 議事概要

発言者	内容
委員長	本日は吹田市スポーツ推進計画（スポーツ施設整備方針）骨子案について御意見をいただく。これから具体的な取組を作成するにあたり、忌憚のない御意見をお聞かせ願いたい。 それでは事務局から説明をお願いします。
事務局	【議題（1）スポーツ推進計画骨子案について】 <資料に基づき説明>
委員長	基本理念にある「SUITAble」は、この計画以外でも使われている表現なのか。
事務局	市のシティプロモーションのキャッチフレーズとして「suitable city」が使われている。
委員長	「適切な・自分に合った」という意味になるのか。
事務局	英語でふさわしい・適したという「suitable」と「吹田」をかけた造語であり、自分に合ったぴったりなという意味で使っている。
委員長	第3章で、本計画の基本的な考え方として基本理念と基本目標が示されている。基本目標には2つずつ施策が入っており、これを第4章以降で具体的に記載していくことになると思うが、この施策でよいかというのも本日

事務局	<p>の議論でいいのか。</p> <p>お示した骨子案の内容はあくまで現時点での案であり、基本目標ごとに施策を2つずつ紐づけているが、施策の数の増減についても議論いただきたい。また、今後、具体的な取組を議論する中で、内容の修正や施策数の増減の可能性もある。</p>
委員長	<p>第1章の2ページに「本計画における「スポーツ」について」とある。ここではアウトドアスポーツについて触れていないが、ニーズを見てみるとアウトドアスポーツも出てきており、コロナ禍においてキャンプもブームになっているので、「レクリエーションやアウトドアスポーツ」としてはどうか。</p> <p>また、同ページでスポーツへのかかわり方の例が整理されているが、一般的にスポーツは「する」「みる」「ささえる」と言われ、そこに「つながる」が入っている。「する」「みる」「ささえる」というかかわりを通して人がつながるという意味では、この4つを並列にするより「する」「みる」「ささえる」3つの下に矢印などをつけ「つながる」という書き方にしてはどうか。</p> <p>SDGsの視点も入っているので、各施策がSDGsのどれに対応して実現できるものなのか具体的に示すと、より対策に注力していることが感じられると思う。</p> <p>データを見ていると吹田市は流入人口が非常に多く、新しいマンションもできている。流入人口が多いということは、若い世代が入ってくるということであり、そういった特徴が健康の意識などに表れていると感じた。課題や基本目標などを示す時には、どのデータから考えているかを示されるとよいと思った</p>
A委員	<p>2ページの(1)「スポーツの位置付け」には定義について書かれているので、「スポーツの定義」という表現がいいと思う。</p> <p>次に、「スポーツとのかかわり」で、先ほど委員長が言ったとおり「する」「みる」「ささえる」を「つながる」に流していくという考えはよいと思った。4ページ(2)に記載のあるSDGsそのものがそういう考え方になっている。17個のグローバルゴールズのうちの17番目の項目は、個別ではなくみんなで進めるという考えが強く出ているので、どこかに「スポーツを通じたパートナーシップの形成」といった内容の追加を検討いただきたい。</p>

副委員長	<p>また、SDGsと施策の関連付けについて、総合計画では、17個のグローバルゴールズではなく、その下の169のターゲットとの関連付けが行われているので、どちらがいいのか検討していただきたいと思う。</p> <p>21・22ページには課題が書かれており、それに応じるかたちで次の基本目標や施策が書かれているが、前半のアンケート結果から読み取ったことを根拠として結び付けることで説得力が増すと思う。市民の声を聞いて反映させているということを明確にさせたほうがよい。</p> <p>「気軽に」「身近に」「多様な」といった表現の使い方や使い分けを整理したほうがよい。簡素化することが気軽なのか、生活に密着させることが気軽なのかといったように、何を指しているのかがわかりにくくなる。国や府などと違い、市は実際に計画を動かしていくところなので、より具体的に表現する方がよい。</p> <p>また、基本目標に「提供します」という文言が多く出てきており、市が直接提供するような表現になっている。実際は、様々な団体と連携して事業を展開していき、市はそういった直接市民に携わる団体等のサポートや活動を促す環境づくりだと思うので、表現方法を考えたほうがよい。</p> <p>21・22ページの課題の整理について、1つのテーマにつき1つの課題や答えを出しているが、複数にまたがる部分はリンクさせてもいいと思う。例えば、「運動・スポーツをささえることに関する課題」のなかの「人材の確保・育成」と「デジタルトランスフォーメーションの推進」の項目は、オンラインでの施設の利用手続きの簡素化や、指導者が行けないところにオンラインで指導環境を整えるなど、ICTの活用という点でまとめられそうな部分があるように感じる。</p>
B委員	<p>基本目標3の「スポーツ活動を支える人と場所」に該当する部分で、人材の確保についての記載はあるが担い手のフォローについての記載がない。近年、コンプライアンスが強く求められており、昔ながらの教え方や、指導の際に体が触れることなども場合によっては問題になることもある。私も10年以上陸上競技を行っているが、そういった問題が実際に起きているので、担い手の確保だけでなく指導者のフォローも必要だと思う。</p> <p>基本目標2の「地域の特性に応じた様々な事業やイベントや各種スポーツ大会等の開催」とはどのようなイベントを想定しているのか。</p>
事務局	<p>市内には33地区に体育振興会があり、現在もグラウンドゴルフやソフトバレーなど様々な事業を展開している。今後は、例えば、マンションが多</p>

	<p>く子供が多い地域では子供が参加できる事業を実施するなど地域の特性に合わせた事業展開も必要と考えている。</p>
B 委員	<p>イベントは増えてほしいと思っているが、先日、大阪マラソンに参加したところ、市民から運営側に問い合わせ等が殺到している場面もあり、運営の難しさがあると感じた。</p> <p>基本目標2のつながるに関しては、他の目標とは違い、市民の方に主体的に関わっていただく必要があるのでハードルが高いと感じる。</p>
C 委員	<p>24 ページ基本目標3「スポーツ活動を支える人と場所」には、推進や提供という文言がないがどういう意味なのか。</p>
事務局	<p>ささえる人の支援と場所の提供というイメージだが、表現が不足しているので検討し修正する。</p>
C 委員	<p>基本目標が1から4までであるが、目的が最終的にあやふやになっているものがあるように感じる。例えば、基本目標3は「スポーツ活動を支える人と場所」となっているが、「スポーツの更なる活性化に取り組みます」という目標になっており、最終的な目標がどちらなのか不明確になっているように思う。このように分けるのであれば目標は何かということが明確になるような書き方が必要である。</p> <p>また、「地域」という言葉の捉え方は、小学校区であったり北大阪であったり、人や事業によってイメージが異なると思う。どのようなイメージで使うのかの認識の共有や、使い分けが必要である。</p> <p>吹田にガンバ大阪以外にトップレベルのスポーツチームは何があるのか。</p>
事務局	<p>エディオン女子陸上長距離チームのほか、市内の大学のクラブ活動などでも活躍をされている方々がいらっしゃる。</p>
C 委員	<p>トップチームがあることはまちの魅力の1つだが、それだけではないと思う。財源確保が難しいバレーボールVリーグの下部チームを維持していく計画を出し合うグループに参加していたことがある。下部チームになると練習場所もない状態であり、協力企業が職員として1~2人は採用してくれるが、財源を確保していく手段がない。市がお金を出すことはなくても、例えば、トップクラスではないが素晴らしい技術をもつ人達が、子供たちを指導してもらったりかわりに何か支援するなど、市や企業、地域が一</p>

	<p>緒に支えながら、ウィンウィンな関係になれるような方法を模索していくことがスポーツの底辺の拡大につながるとおもう。</p>
D 委員	<p>部活動の地域移行についての現状を教えてください。</p>
事務局	<p>部活動の地域移行については、国は地域の実情に即してとっているが、吹田市ではどのように進めていくべきかまだ明確に打ち出せていない。教育委員会が主体となり動くことになると思うが、学校や子供達、保護者等への調査等もまだできておらず、地域の団体と連携するのか民間の力を活用するのかなど、内部でもどのように進めるべきか議論の最中のため、現時点では計画に具体的に記載できる状況ではない。スポーツ推進計画策定後、具体的な計画を立ててすすめていくことになると思うので、また動きがあれば御報告させていただく。</p>
委員長	<p>何も書かないわけにはいかない。例えば、中学生のスポーツ活動を継続的に保障していくような環境づくりや、それを企業や地域と連携して整える、など頭出しだけでもしておく必要があるのではないか。</p>
事務局	<p>具体的な方向性の記載まではできないが、「ささえていく」という方針だけでも記載したい。</p>
副委員長	<p>推進計画なので必ずしも具体的な答えまで書く必要はなく、「協議の場を作る」や「今後のあり方を考える場を提供する」などの書き方でも構わないと思う。他市でも部活動の地域移行については、早く答えを出さなければならぬと考えられているが、話し合いをする前に答えは出せないの、関係団体が集う場をいつまでに作る、などが推進計画に盛り込まれていけば動きやすくなると思う。教育委員会が必ずイニシアチブを取る必要はなく、「ライフステージに応じたスポーツの推進」に青少年スポーツが入ってくると思うので、具体的な取組に書けると思う。</p>
委員長	<p>部活動が「ささえる」に入るとのことだが、個人的には「する」に入るのではないかと思う。突き詰めていくと、多様な年齢の人が地域で一緒にスポーツする環境作りにつながるの、で、「ささえる」というよりは「する」に入れるほうが良いと思う。</p>
C 委員	<p>「スポーツ実施率」、「運動実施率」とあるが、書き方の違いに意味がある</p>

	のか。
事務局	文言の整理をする。
C 委員	<p>課題の「子育て世代の運動・スポーツ参加の促進」の中で、育児で運動に取り組む時間が取れない人に対して、「親子で参加できるイベント」となっているが、子供と運動したいのか、それとも自分が運動する機会がないのかよく分からない。アンケート結果と今後の取組が一致していないように感じる。</p> <p>また、「新しいスポーツに対するニーズへの対応」の中の「活動の活性化」とあるが、アーバンスポーツの活性化なのか、興味のある人を増やす活性化なのかわかりにくい。</p>
事務局	わかりやすい表現を検討し修正する。
副委員長	<p>基本目標 1 の施策 1 と 2 について、「ライフステージに応じた」と「多様なニーズに対応した」では、具体的な取組の内容が重複してくるのではないかと。キーワードになっている「気軽に」「身近に」という表現を施策に反映させていくと、例えば、家の近く・道路・公園でスポーツができるようにすると、公園やスポーツ施設の整備などのハード面を考えていくことになる。そうなれば、施策 2 の「スポーツ環境の充実」を施策 1 に吸収させて内容をふくらませてもいいかもしれない。</p> <p>同様に、「スポーツ環境の充実」と基本目標 3 の施策 2 「スポーツ活動の支援」についても、具体的な取組の内容が重複してくるかもしれない。</p> <p>具体的な取組を検討しながら整理して調整していかないといけないと思う。</p>
事務局	<p>基本目標 1 について、施策 1 はライフステージに応じて年代別でソフト面の取組が中心、施策 2 は例えば車椅子の方などに向けての施設や設備の整備などハード面が中心というイメージで考えていた。</p> <p>今後、具体的な取組をだしながら検討していき、御意見をいただきながら、施策の統合や追加も含め修正や整理をしていきたい。</p>
E 委員	2 ページのスポーツの位置付けにある「競技スポーツだけでなく」という文言はいいと思うが、全体としてはスポーツを楽しむという面が強く、実際に競技スポーツをしている方にとっては自分の思うスポーツとは乖離

	<p>しているように考える方もいると思う。競技スポーツで順位を競うのはプロだけでなく小中学校や高校、大学などでも行われていることであり、具体的な支援の有無にかかわらず、競技スポーツに関係する方に向けての記載も必要ではないか。</p>
<p>委員長</p>	<p>学生だけでなくマスターズスポーツなどもある。 ガンバ大阪は、吹田市ならではの大きな資源であり、みるスポーツの対象としての位置付けが大きいと思う。ガンバ大阪と連携していくということになると思うが、ガンバ大阪として記載内容についての考えはあるか。</p>
<p>E 委員</p>	<p>Jリーグのチームは日本で60チームしかなく、吹田市はその60分の1の自治体なので、ガンバ大阪が吹田市にあるということを全面に押し出してもらっていい。現在も、ガンバ大阪のコーチが保育園訪問を行う活動もしているように、活用してもらいたいと考えており、踏みこんだ書き方をしても構わないと思っている。 ただ、ガンバ大阪だけとならないように、他のスポーツへの配慮も必要になるかもしれない。</p>
<p>C 委員</p>	<p>他のJリーグチームがある自治体での位置付けも参考にすればいい。</p>
<p>E 委員</p>	<p>横浜市はJリーグとプロ野球あわせて3チームあり、サッカーだけとはならないなど地域の特性がある。吹田市ならではの記載になればいいと思う。</p>
<p>F 委員</p>	<p>基本目標4の施策2について、具体的にどのようにガンバ大阪をはじめトップチームのアスリートの方と連携してまちの魅力をあげていくのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>ガンバ大阪のホームグラウンドのパナソニックスタジアム吹田は試合開催以外でも魅力のあるスポットと思う。また、成人祭に選手のメッセージをいただいたり、様々なポスターや催し等に選手やキャラクターを起用したり、ガンバ大阪と連携してホームタウン意識を高める活動をしている。他にも、幼稚園や保育園、小学校にガンバ大阪のアカデミーコーチが訪問するなど、子供達に向けての取組もしている。できることは多くあると思うので、今後もガンバ大阪と連携して取り組んでいきたい。</p>
<p>F 委員</p>	<p>大学のバスケットボール部に所属しており、毎週1～2回程度、土日に地</p>

	<p>域の小中学生を指導する教室がある。指導することは自分の経験にもなり、子供達にスポーツの魅力を知らせてもらう機会にもなっている。ただ、小中学生のスポーツに対する意欲にはばらつきがあり、乗り気ではないのではないかと想像してしまうこともある。トップアスリートが率先して子供達にスポーツの魅力を伝えていただけると、楽しさを感じてもらえると思う。この基本目標に関してはトップアスリートの方に先頭を切っていただき、取組を進めてほしい。</p>
委員長	<p>大学もガンバ大阪以外の重要な連携先でもあるので、記載できるのではないかな。</p>
B 委員	<p>私が小学生の時にガンバ大阪の遠藤選手と倉田選手に学校に来ていただいたことがある。プレーに大変衝撃を受けたことを今でも鮮明に覚えている。その後、ガンバ大阪を応援しに行き、大人になった今でも観戦に行っている。小学校等への訪問は労力もかかりお金にもならないと思うが、子供達の記憶に残ることで後々花咲く活動になると思う。可能であればもう少し活動が増えるといい。</p>
G 委員	<p>子供の体力低下に関しては、道路や公園もボール投げが禁止であり、地域でボールを投げられるような場所がない。こども会やクラブチームに入っている子供はいいが、地域で誰もがボール投げなどができる環境づくりが大切と思う。</p> <p>また、子供たちが卒業してもチームを作ってスポーツを継続したり、OBとして指導に来たりしてくれるなどつながりがある地域もある。地域に携わっている者としては、このつながりを広げていけたらいいと思う。</p>
委員長	<p>ボランティアや指導者確保という点においていかがか。</p>
G 委員	<p>吹田市は社会体育リーダーの養成講座を毎年行っている。今回も 35 名が受講し体育振興会に入っていくが、地域により年代などに違いはある。</p> <p>各地域では市民体育祭などの行事を行っており、吹田市は地域のつながりはある。地区行事等では年配の方が参加しやすく、勝ち負けを付けるような競技性が高くないグランドゴルフなどの参加率が高い。スポーツ行事の開催にあたっては、勝ち負けをつけないような傾向にあるが、そうすると若い方の参加が減少するということもあり、模索中である。若い方や家族の参加を少しでも広げていきたいと思っている。</p>

H 委員	<p>ガンバ大阪については、もっとアピールしてもいいと思う。</p> <p>基本目標2「地域の特性に応じた様々な事業やイベント」について、吹田市は体育館が5つ・武道館・総合運動場などがあり恵まれているが、地域の方とのイベントはまだ広まっていないように感じるので、指定管理者としては行政と協力しながらイベントを開催していかなくてはいけないと思う。</p> <p>2ページのスポーツとのかかわりについては、「する」「みる」「ささえる」があって最後に「つながる」の表現に変えたほうがよい。</p>
A 委員	<p>10 ページ以降の吹田市のスポーツの現状のデータについて、集計したサンプル数の記載が必要である。</p> <p>13 ページの上のデータについて、上のグラフで運動している人は健康に感じている、下のグラフで運動している人は体力がある、となっているが、逆に健康ではないから運動できていない人や、体力に不安があって運動できていない人もいるので、その因果関係は正しいといえるのか検討していただきたい。</p> <p>12 ページの性別や年齢別の分析については、ステレオタイプのメッセージを出してしまう可能性があるのも、特に意図がないのであれば分ける必要もないと思う。</p>
委員長	<p>基本目標について、一般的に書いておかなくてはいけない内容と、吹田市のアドバンテージを押し出した内容のバランスが大事であり、吹田ならではの視点をどう打ち出していくかを工夫していただきたい。</p> <p>「SUITAble」については非常に面白い言葉だが、漠然としていて分かりにくい面もあるので、具体例などがあればいい。</p> <p>例えば、週末にガンバ大阪の応援にいったファン仲間とつながる。普段は朝ウォーキングしていて、週末に地区行事に参加する。万博の外周を週3日ジョギングする。など、吹田ならではの魅力を表現する「SUITAble」の例を書けないか。目指す「SUITAble」や今ある「SUITAble」などでもいいので、これが「SUITAble」という例を書いていくと、吹田ならではのおもしろい計画ができると思う。</p>
F 委員	<p>22 ページの③「運動・スポーツをささえることに関する課題」について、部活動の指導者の不足は感じている。大学スポーツでも優れた指導者がいるところは選手のモチベーションにもつながり、技術力も向上している。</p>

	<p>部活動は教員が指導することが多いと思うが、指導するスポーツを経験しておらず、指導力が足りていないことも多いので、指導力の高い人材の育成や、招へいというのにも必要かとおもう。</p>
副委員長	<p>国等の流れも勝ち負けにこだわるという点から離れてきているが、「競技力」はとても大切であり、競技をしてきた人が指導者になるという好循環は非常に重要だと思っている。子供達は最初から生涯スポーツを想定して健康のためにスポーツをするわけではない。子供たちが目指したい学校やチームづくり等をサポートすることで、その後に吹田で教える立場になるという好循環がうまれるといい。</p> <p>競技力向上と勝利至上主義を混同し駄目なものとして捉えられがちであるが、本来両者は別のものである。競技力をサポートしていき、いいチームをつくるのが裾野を広げる第一歩になる。他市は避けているかもしれないが、国の考えともリンクするので、吹田市は恐れず押し出してもいい。</p>
C 委員	<p>21 ページ「生涯現役の健康づくりのための運動・スポーツの普及」でスポーツと健康づくりの関係についての記載があると思うが、ここでは 50 歳以上の運動実施率の低下しており介護予防の視点も重要という程度にとどまっているが、アンケート結果からは 40 代の女性の運動する機会が少なく、今後もしようと思っていないが、健康に不安は感じていないという点も課題である。40 代から運動や健康づくりの意識を高めるということも必要であり、国もスポーツの習慣化と健康づくりは別のものではないという考えであったはず。</p>
委員長	<p>本日委員からいただいた様々な意見を参考にし、計画や具体的な取組の中に落とし込んでいただきたい。</p>
事務局	<p>いただいた御意見を参考に、具体的な取組を含めた素案を作成したい。</p>
事務局	<p>【議題（2）その他】 <次回の開催予定について事務連絡></p>